

# 債券・為替 ウィークリーレポート



カナダ



ブラジル



メキシコ



オーストラリア



ニュージーランド



ノルウェー


















南アフリカ



インドネシア



インド

国（地域）	格付 （※1）	債券（※2）	為替（対円）	経済成長率	政策金利	先週の動向	今週の見通し
		5/18 （5/11との比較）	5/18 （5/11との比較）	前年比 （※3）	先週末		
		今後の見通し （※4）	今後の見通し （※5）	景気の方向性 （※6）	方向性 （※7）		
カナダ 	AAA	2.49% （+0.11）	85.98円 （+0.56%）	+2.9% 2017年4Q	1.25%	CPI（消費者物価指数）や小売売上高などの経済指標が発表。CPIは市場予想通りとなるものの、小売売上高（除く自動車）は市場予想を下回る結果。米国債利回りの上昇を受け、国債利回りは上昇。カナダドルは対円で上昇。	特段重要な経済指標等の発表はなし。NAFTA（北米自由貿易協定）関連の不透明感が重くのしかかっているものの、経済的観点から材料視される指標はほとんどないため、債券・為替市場ともに概ねレンジ内での推移を予想。
	Aaa	 金利横ばい		 景気安定	 利上げ局面		
ブラジル 	BB-	9.61% （+0.59）	29.64円 （▲2.44%）	+2.1% 2017年4Q	6.50%	中銀は政策決定会合で政策金利の据え置きを決定。中銀が公表した声明文において、為替相場への言及がなかったことなどから、市場に懸念が広がり、レアルは対円で下落。国債利回りは上昇。	経常収支などの経済指標が発表予定。国際金融市場でのレアル安圧力や、不透明感の根強い大統領選挙をめぐる情勢を背景とした、為替市場の下落には引き続き注意が必要。
	Ba2	 金利低下		 景気回復	 据え置き局面		
メキシコ 	A-	7.77% （+0.23）	5.55円 （▲1.40%）	+1.2% 2018年1Q	7.50%	中銀は政策決定会合で政策金利の据え置きを決定。連日のNAFTA再交渉において、合意のめどが不透明であることなどから、国債利回りは上昇。ペソは対円で下落。	小売売上高やGDP（国内総生産）、貿易収支などの経済指標等の発表を予定。米ドル高基調の継続や、NAFTA再交渉のほか、大統領選をめぐる不透明感などから、為替市場には引き続き注意が必要。
	A3	 金利横ばい		 景気安定	 利上げ局面		

出所：ブルームバーグのデータ等をもとにアセットマネジメントOne作成

※1 格付は上段がS&P、下段がMoody'sによる自国通貨建て長期債格付を表示。

※2 国債利回りを表示（カナダ：10年、ブラジル：4年、メキシコ：5年）。債券については変化幅、為替については騰落率を表示。

※3 経済成長率については、前年同期比を表示。
















※4、5 今後の見通しについては、今後1カ月のアセットマネジメントOneの見通しを矢印で表示。為替の見通しについては、現地通貨高（円安）を上向き、現地通貨安（円高）を下向き、横ばいを横方向の矢印で表示。

※6、7 方向性については、今後1年のアセットマネジメントOneの見通しを矢印で表示。

※為替レートについてはいずれもNY終値を表示。

※政策金利については、カナダ：翌日物貸出金利、ブラジル：Selicレート、メキシコ：翌日物金利を表示。
















※上記は過去のデータであり、将来の市場動向を示唆、保証するものではありません。  
※巻末の「投資信託に係るリスクと費用およびご注意事項」を必ずお読み下さい。

国（地域）	格付 （※1）	債券（※2）	為替（対円）	経済成長率	政策金利	先週の動向	今週の見通し
		5/18 (5/11との比較) 今後の見通し (※4)	5/18 (5/11との比較) 今後の見通し (※5)	前年比 (※3) 景気の方向性 (※6)	先週末 方向性 (※7)		
オーストラリア 	AAA	2.90% (+0.12)	83.19円 (+0.84%)	+2.4% 2017年4Q	1.50%	発表された雇用統計が市場予想を上回る結果となったことや、堅調な原油価格などを背景に、米ドル円相場が円安に推移した流れを受け、豪ドルは対円で上昇。国債利回りは上昇。	中銀総裁の講演などを予定。買い材料に乏しい中、中東をめぐる地政学的リスクや、米金利上昇に伴う米豪金利差拡大観測の高まりから、堅調な米ドル相場を背景に、豪ドルは上値の重い展開を予想。
	Aaa	 金利横ばい		 景気安定	 利上げ局面		
ニュージーランド 	AA+	2.86% (+0.14)	76.53円 (+0.41%)	+2.9% 2017年4Q	1.75%	政府は、2017年度の財政黒字見通しを公表し、従来予想を引き上げ。債務管理局は21年までの3年間、国債発行額を増額する方針を公表。ニュージーランドドルは対円で上昇。国債利回りは上昇。	新年度予算案で、投資に対して堅調な姿勢が示されたことなどは、為替や国債利回りの上昇要因と考えられるものの、政策金利引き上げに対する中銀の慎重な姿勢などもあり、債券・為替市場ともに一進一退の展開を想定。
	Aaa	 金利横ばい		 景気安定	 据え置き局面		
ノルウェー 	AAA	1.98% (+0.05)	13.65円 (▲0.23%)	+0.3% 2018年1Q	0.50%	貿易収支やGDPなどが公表され、概ね良好な結果となったほか、中銀総裁のインタビュー等があったものの、市場への影響は限定的。ノルウェークローネは対円で下落。国債利回りは上昇。	失業率等の発表があるものの、夏以降に実施される見込みの政策金利引き上げへ影響を与える材料とはならないと想定。引き続き海外市場をにらみながら、為替は底堅い推移を予想。国債利回りは横ばいを想定。
	Aaa	 金利横ばい		 景気拡大	 利上げ局面		

出所：ブルームバーグのデータ等をもとにアセットマネジメントOne作成

- ※1 格付は上段がS&P、下段がMoody'sによる自国通貨建て長期債格付を表示。
- ※2 10年国債利回りを表示。債券については変化幅、為替については騰落率を表示。
- ※3 経済成長率については、前年同期比を表示。
- ※4、5 今後の見通しについては、今後1カ月のアセットマネジメントOneの見通しを矢印で表示。為替の見通しについては、現地通貨高（円安）を上向き、現地通貨安（円高）を下向き、横ばいを横方向の矢印で表示。
- ※6、7 方向性については、今後1年のアセットマネジメントOneの見通しを矢印で表示。
- ※為替レートについてはいずれもNY終値を表示。
- ※政策金利については、オーストラリア：キャッシュレート、ニュージーランド：オフィシャル・キャッシュレート、ノルウェー：デポジットレートを表示。

※上記は過去のデータであり、将来の市場動向を示唆、保証するものではありません。  
※巻末の「投資信託に係るリスクと費用およびご注意事項」を必ずお読み下さい。

国（地域）	格付 （※1）	債券（※2）	為替（対円）	経済成長率	政策金利	先週の動向	今週の見通し
		5/18 （5/11との比較）	5/18 （5/11との比較）	前年比 （※3）	先週末		
		今後の見通し （※4）	今後の見通し （※5）	景気の方向性 （※6）	方向性 （※7）		
南アフリカ 	BB+	7.99% （+0.25）	8.67円 （▲3.10%）	+1.5% 2017年4Q	6.50%	発表された小売売上高は市場予想を下回る結果。国内要因はほとんど見られなかったものの、米ドル高基調を背景とした対外要因を主因に、国債利回りは上昇。ランドは対円で下落。	CPIの発表や金融政策決定会合などを予定。足元のインフレは鈍化基調も新興国全般の弱含みなどもあり、政策金利は据え置かれる見通し。債券・為替市場ともに上値の重い展開を予想。
	Baa3	 金利横ばい		 景気安定	 据え置き局面		
インドネシア 	BBB-	7.03% （+0.13）	0.78円 （+0.17%）	+5.1% 2018年1Q	4.50%	中銀は政策決定会合で、政策金利の引き上げを決定。中銀総裁が、状況に応じて再度政策金利の調整が必要となった場合、躊躇せず行動すると言明したことなどを受け、国債利回りは上昇。ルピアは対円で上昇。	特段重要な経済指標等の発表はなし。米ドル高や米国金利上昇への警戒が高まる中、中銀がルピア支援のための政策金利を追加調整する可能性を示唆したことなどから、国債利回りは上昇、ルピアは底堅い推移を予想。
	Baa2	 金利上昇		 景気拡大	 利上げ局面		
インド 	BBB-	7.87% （+0.04）	1.63円 （+0.25%）	+7.2% 2017年4Q	6.00%	発表されたCPIは市場予想を上回る結果。原油が高値圏で推移していることや、米ドル高基調の継続などが相場の重しとなっていることなどから、国債利回りは上昇。中銀による為替市場への介入を受け、ルピーは対円で上昇。	特段重要な経済指標等の発表はなし。足元で原油価格が上昇していることや、米国を中心とした対外要因には注意が必要なものの、債券・為替市場はともに概ねレンジ内での推移を予想。
	Baa2	 金利上昇		 景気回復	 据え置き局面		

出所：ブルームバーグのデータ等をもとにアセットマネジメントOne作成

※1 格付は上段がS&P、下段がMoody'sによる自国通貨建て長期債格付を表示。

※2 国債利回りを表示（南アフリカ：5年、インドネシア：5年、インド：5年）。債券については変化幅、為替については騰落率を表示。

※3 経済成長率については、前年同期比を表示。

※4、5 今後の見通しについては、今後1カ月のアセットマネジメントOneの見通しを矢印で表示。為替の見通しについては、現地通貨高（円安）を上向き、現地通貨安（円高）を下向き、横ばいを横方向の矢印で表示。

※6、7 方向性については、今後1年のアセットマネジメントOneの見通しを矢印で表示。

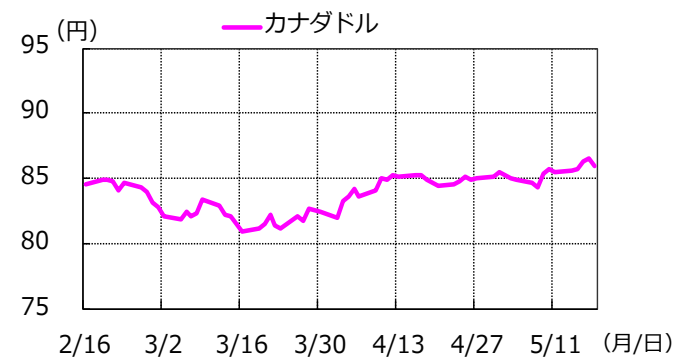
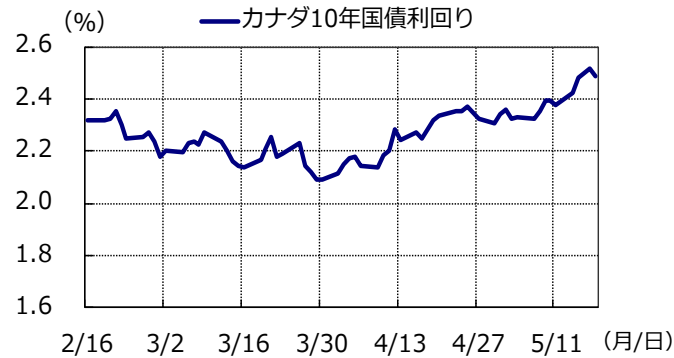
※為替レートについてはいずれもNY終値を表示。インドネシアルピアは100通貨単位あたりの値。

※政策金利については、南アフリカ：レポレート、インドネシア：7日物リバースレポ金利、インド：レポレートを表示。

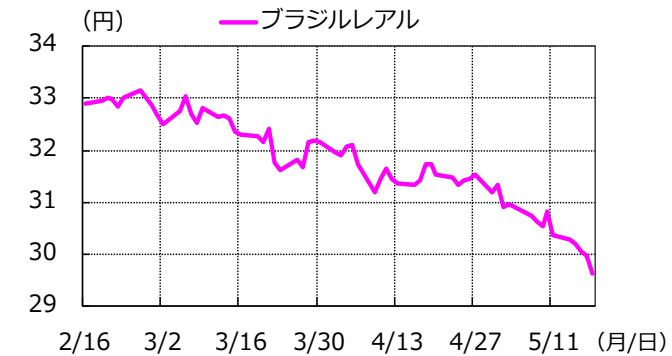
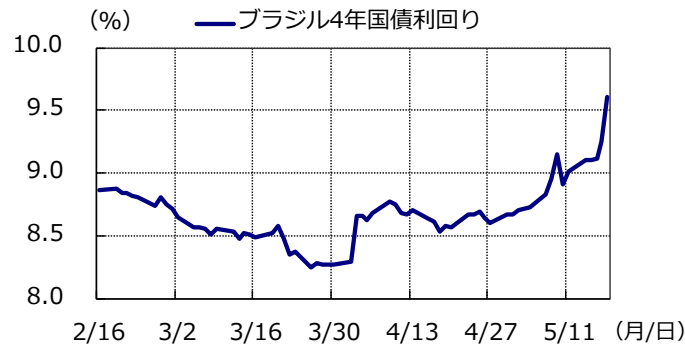
※上記は過去のデータであり、将来の市場動向を示唆、保証するものではありません。  
※巻末の「投資信託に係るリスクと費用およびご注意事項」を必ずお読み下さい。

期間：2018/2/16～2018/5/18

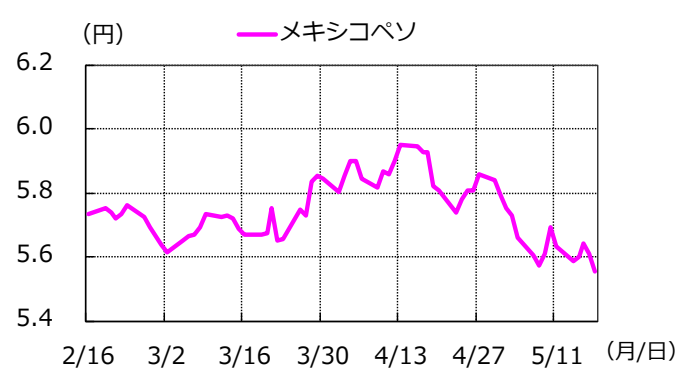
カナダ



ブラジル



メキシコ

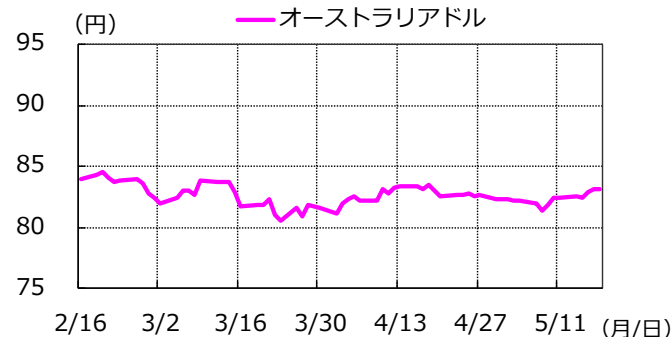
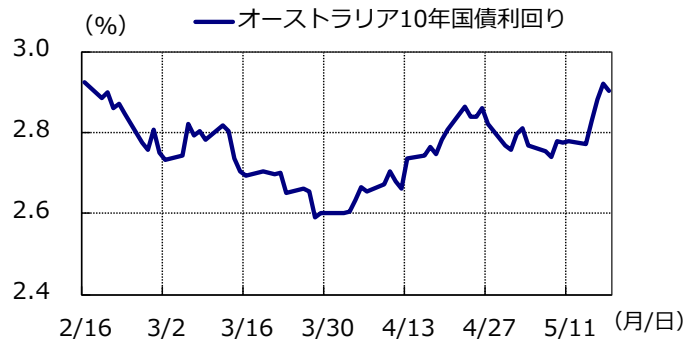


※為替レートについてはいずれもNY終値を表示。出所：ブルームバーグのデータ等をもとにアセットマネジメントOne作成

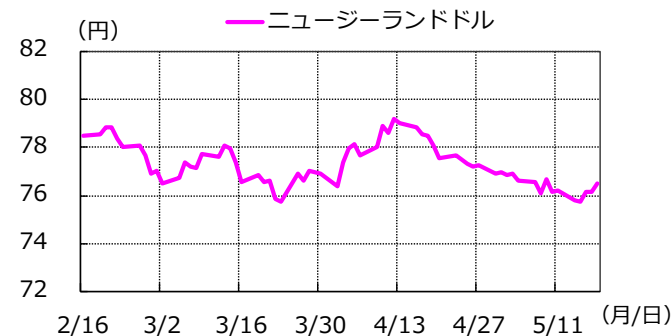
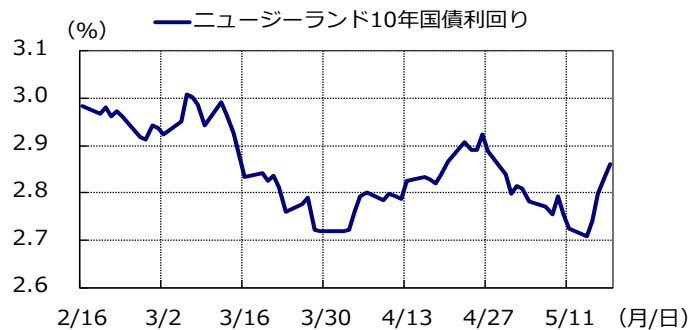
※上記は過去のデータであり、将来の市場動向を示唆、保証するものではありません。  
※巻末の「投資信託に係るリスクと費用およびご注意事項」を必ずお読み下さい。

期間：2018/2/16～2018/5/18

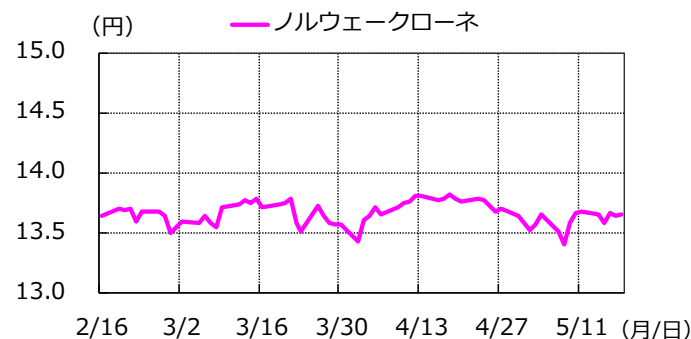
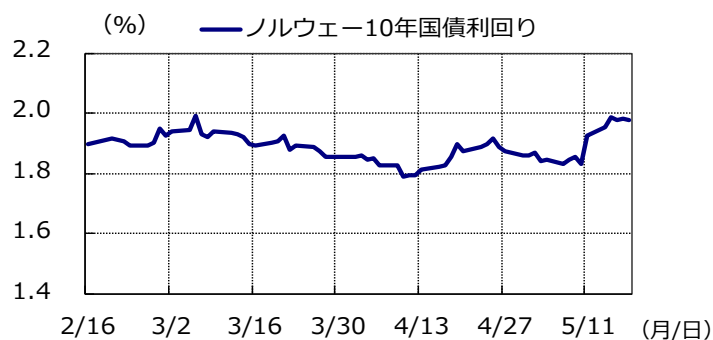
オーストラリア



ニュージーランド



ノルウェー

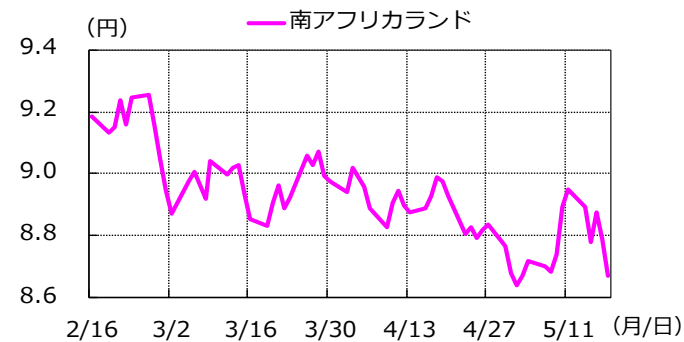


※為替レートについてはいずれもNY終値を表示。出所：ブルームバーグのデータ等をもとにアセットマネジメントOne作成

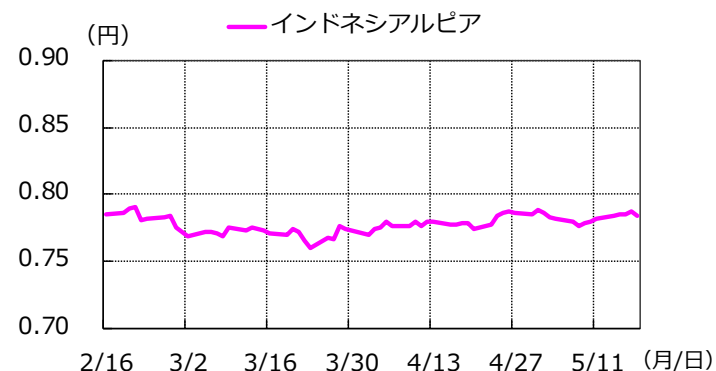
※上記は過去のデータであり、将来の市場動向を示唆、保証するものではありません。  
※巻末の「投資信託に係るリスクと費用およびご注意事項」を必ずお読み下さい。

期間：2018/2/16～2018/5/18

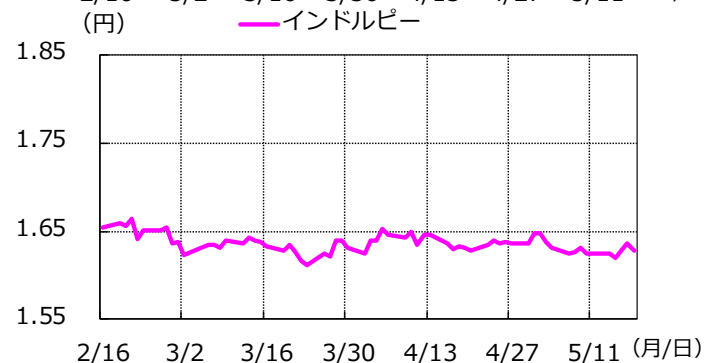
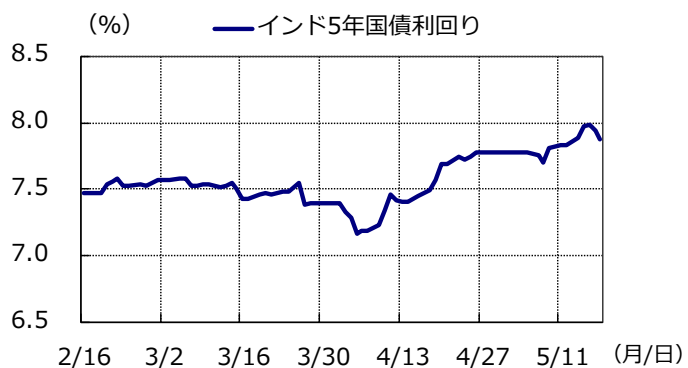
南アフリカ



インドネシア



インド



※インドネシアルピアは100通貨単位あたりの値。 ※為替レートについてはいずれもNY終値を表示。出所：ブルームバーグのデータ等をもとにアセットマネジメントOne作成

※上記は過去のデータであり、将来の市場動向を示唆、保証するものではありません。  
※巻末の「投資信託に係るリスクと費用およびご注意事項」を必ずお読み下さい。

# 投資信託に係るリスクと費用およびご注意事項

## 【投資信託に係るリスクと費用】

### ● 投資信託に係るリスクについて

投資信託は、株式、債券および不動産投資信託証券（リート）などの値動きのある有価証券等（外貨建資産には為替リスクもあります。）に投資をしますので、市場環境、組入有価証券の発行者に係る信用状況等の変化により基準価額は変動します。このため、投資者の皆さまの投資元本は保証されているものではなく、基準価額の下落により、損失を被り、投資元本を割り込むことがあります。ファンドの運用による損益はすべて投資者の皆さまに帰属します。また、投資信託は預貯金とは異なります。

### ● 投資信託に係る費用について

[ご投資いただくお客さまには以下の費用をご負担いただきます。]

#### ■ お客さまが直接的に負担する費用

購入時手数料：上限3.78%（税込）

換金時手数料：換金の価額の水準等により変動する場合がありますため、あらかじめ上限の料率等を示すことができません。

信託財産留保額：上限0.5%

#### ■ お客さまが信託財産で間接的に負担する費用

運用管理費用（信託報酬）：上限 年率2.6824%（税込）

※上記は基本的な料率の状況を示したものであり、成功報酬制を採用するファンドについては、成功報酬額の加算によってご負担いただく費用が上記の上限を超過する場合があります。成功報酬額は基準価額の水準等により変動するため、あらかじめ上限の額等を示すことができません。

その他費用・手数料：上記以外に保有期間等に応じてご負担いただく費用があります。投資信託説明書（交付目論見書）等でご確認ください。その他費用・手数料については定期的に見直されるものや売買条件等により異なるため、あらかじめ当該費用（上限額等を含む）を表示することはできません。

※手数料等の合計額については、購入金額や保有期間等に応じて異なりますので、あらかじめ表示することはできません。

※上記に記載しているリスクや費用項目につきましては、一般的な投資信託を想定しております。費用の料率につきましては、アセットマネジメントOne株式会社が運用するすべての投資信託のうち、徴収するそれぞれの費用における最高の料率を記載しております。

※投資信託は、個別の投資信託ごとに投資対象資産の種類や投資制限、取引市場、投資対象国が異なることから、リスクの内容や性質、費用が異なります。投資信託をお申し込みの際は、販売会社から投資信託説明書（交付目論見書）をあらかじめ、または同時にお渡ししますので、必ずお受け取りになり、内容をよくお読みいただきご確認のうえ、お客さまご自身が投資に関してご判断ください。

※税法が改正された場合等には、税込手数料等が変更となることがあります。

## 【ご注意事項】

● 当資料は、アセットマネジメントOne株式会社が作成したものです。

● 当資料は、情報提供を目的とするものであり、投資家に対する投資勧誘を目的とするものではありません。

● 当資料は、アセットマネジメントOne株式会社が信頼できると判断したデータにより作成しておりますが、その内容の完全性、正確性について、同社が保証するものではありません。また掲載データは過去の実績であり、将来の運用成果を保証するものではありません。

● 当資料における内容は作成時点のものであり、今後予告なく変更される場合があります。

● 投資信託は、

1. 預金等や保険契約ではありません。また、預金保険機構および保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。加えて、証券会社を通して購入していない場合には投資者保護基金の対象ではありません。

2. 購入金額について元本保証および利回り保証のいずれもありません。

3. 投資した資産の価値が減少して購入金額を下回る場合がありますが、これによる損失は購入者が負担することとなります。